

救 助



救助業務の状況

本市の救助業務体制は、平成7年4月から4署体制とし、各署に救助隊を配置しています。

教育訓練は、救助隊教育訓練実施計画に基づき、年間及び月間実施計画を定めて気力、体力の充実強化を図り、隊員の技能向上に努めています。

なお、平成14年から特殊災害（生物剤、化学剤に起因する事故等）に対応する資器材の整備強化を図るとともに、近年多発する大規模自然災害やテロ等の特殊災害に迅速的確に対応するため、人命救助に関する高度な知識・技術を身につけた隊員で構成する高度救助隊（スーパーレスキュー松山）を平成18年4月に創設し、中央消防署に配置しました。

救助隊の編成

（総員52名 車両10台）（令和8年4月1日現在）

隊 編 成						人 員	配 置 車 両
高度救助隊	中央消防署	一部	隊長 隊員	1 6	名 名	7 名	救助工作車Ⅲ型（2.9tクレーン付） 特殊災害資機材車
		二部	隊長 隊員	1 6	名 名	7 名	
特別救助隊	東消防署	一部	隊長 隊員	1 6	名 名	7 名	救助工作車Ⅱ型（2.9tクレーン付） 小型動力ポンプ付軽積載車
		二部	隊長 隊員	1 6	名 名	7 名	
救助隊	南消防署	一部	隊長 隊員	1 5	名 名	6 名	救助工作車Ⅱ型（2.9tクレーン付）
		二部	隊長 隊員	1 5	名 名	6 名	
救助隊	西消防署	一部	隊長 隊員	1 5	名 名	6 名	救助工作車Ⅱ型（2.9tクレーン付） 屈折はしご付消防ポンプ自動車 小型動力ポンプ付積載車 拠点機能形成車 消防ポンプ自動車（中島支所）
		二部	隊長 隊員	1 5	名 名	6 名	



中央消防署 救助工作車Ⅲ型



南消防署 救助工作車Ⅱ型

救助出動等の状況

令和7年中の救助出動件数は、265件(前年250件)、活動件数は203件(前年186件)です。
前年と比較すると、出動件数は、15件(6.0%)、活動件数は17件(9.1%)増加しています。
また、救助人員は、173人(前年149人)で、前年と比較すると、24人(16.1%)増加しています。

(各年中) (▲減少)

区 分		令和7年	令和6年	増減 (A－B)	増減率
		A	B	C	(C÷B×100)%
出 動 件 数		265	250	15	6.0
活 動 件 数		203	186	17	9.1
救 助 人 員		173	149	24	16.1
内 訳	男性	91	81	10	12.3
	女性	82	68	14	20.6
出 動 台 数		1,355	1,343	12	0.9
出 動 人 員		4,481	4,642	▲ 161	▲ 3.5
事 故 種 別 出 動 件 数	火 災	15	11	4	36.4
	交 通	63	47	16	34.0
	水 難	8	7	1	14.3
	自 然 災 害	1	4	▲ 3	—
	機 械	1	3	▲ 2	▲ 66.7
	建 物	117	119	▲ 2	▲ 1.7
	ガ ス ・ 酸 欠	5	2	3	150.0
	破 裂	0	0	0	—
	そ の 他	55	57	▲ 2	▲ 3.5

(注) 火災での出動件数は、救助活動を行った件数のみ計上しています。

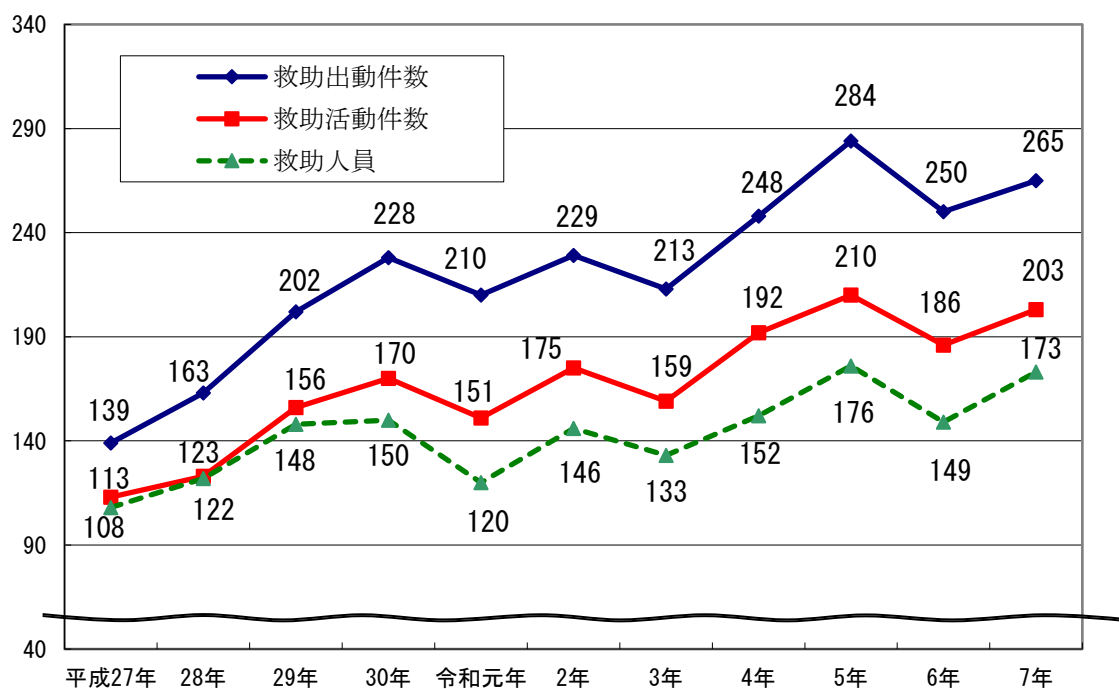
救助出動等の推移

10年前の平成27年を指数100とした場合、出動件数191、活動件数180、救助人員160となっています。

(各年中) (▲減少)

区分 年	救 助 出 動 件 数			救 助 活 動 件 数			救 助 人 員		
	件数	指数	対前年 増減率 (%)	件数	指数	対前年 増減率 (%)	人数	指数	対前年 増減率 (%)
平成27年	139	100	—	113	100	—	108	100	—
平成28年	163	117	17.3	123	109	8.8	122	113	13.0
平成29年	202	145	23.9	156	138	26.8	148	137	21.3
平成30年	228	164	12.9	170	150	9.0	150	139	1.4
令和元年	210	151	▲ 7.9	151	134	▲ 11.2	120	111	▲ 20.0
令和2年	229	165	9.0	175	155	15.9	146	135	21.7
令和3年	213	153	▲ 7.0	159	141	▲ 9.1	133	123	▲ 8.9
令和4年	248	178	16.4	192	170	20.8	152	141	14.3
令和5年	284	204	14.5	210	186	9.4	176	163	15.8
令和6年	250	180	▲ 12.0	186	165	▲ 11.4	149	138	▲ 15.3
令和7年	265	191	6.0	203	180	9.1	173	160	16.1

(件/人)



事故種別・署別出動の状況

事故種別ごとに救助活動の状況をみると、出動件数で最も多いのは、建物等による事故の117件で、全体の44.2%を占め、次いで交通事故の63件(23.8%)となっています。

活動件数で最も多いのは、建物等による事故の93件で、全体の45.8%を占め、次いでその他の44件(21.7%)となっています。

救助人員についても、建物等による事故が最も多く69人で、全体の39.9%を占め、次いで交通事故の44人(25.4%)となっています。

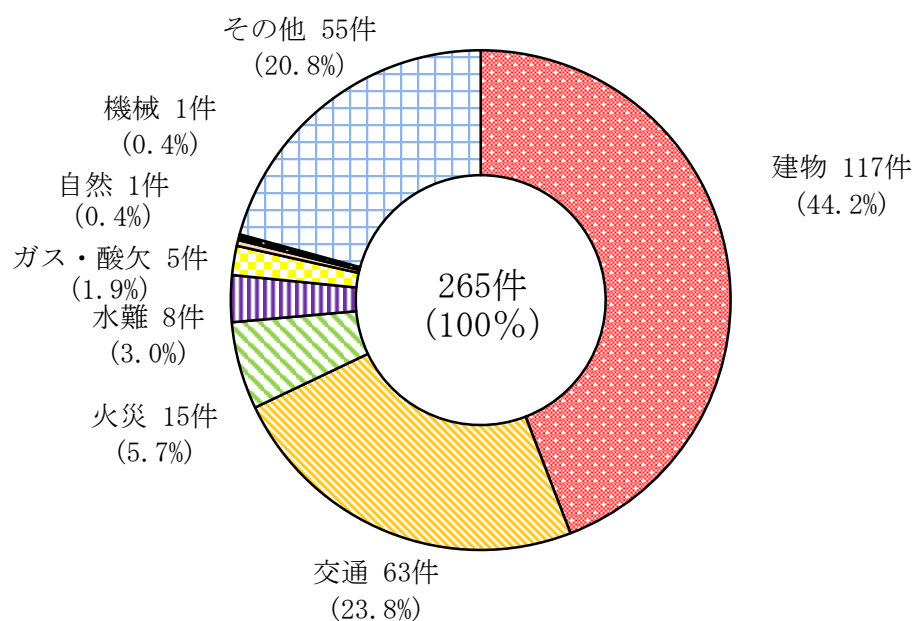
(令和7年中)

事故種別 署別		火 災	交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	合 計
中央 消防 署	出動件数	4	23	2	1		45	2		21	98
	活動件数	4	11	1	1		35	2		17	71
	救助人員	1	15	1			24	2		17	60
	出動台数	45	108	14	3		222	12		93	497
	出動人員	177	347	41	10		719	36		306	1,636
東 消防 署	出動件数	5	11	1			26	1		14	58
	活動件数	5	7	1			22	1		12	48
	救助人員	2	8	1			17	1		11	40
	出動台数	53	60	6			120	7		58	304
	出動人員	192	188	21			391	21		184	997
南 消防 署	出動件数	5	16	1			28			8	58
	活動件数	5	11	1			21			5	43
	救助人員	2	13	1			16			5	37
	出動台数	57	76	6			137			34	310
	出動人員	219	233	22			427			108	1,009
西 消防 署	出動件数	1	13	4		1	18	2		12	51
	活動件数	1	8	4		1	15	2		10	41
	救助人員		8	4		1	12	1		10	36
	出動台数	11	55	30		7	88	14		39	244
	出動人員	45	170	92		41	283	42		166	839
合 計	出動件数	15	63	8	1	1	117	5	0	55	265
	構成比(%)	5.7	23.8	3.0	0.4	0.4	44.2	1.9	0.0	20.8	100.0
	活動件数	15	37	7	1	1	93	5	0	44	203
	構成比(%)	7.4	18.2	3.4	0.5	0.5	45.8	2.5	0.0	21.7	100.0
	救助人員	5	44	7	0	1	69	4	0	43	173
	構成比(%)	2.9	25.4	4.0	0.0	0.6	39.9	2.3	0.0	24.9	100.0
	出動台数	166	299	56	3	7	567	33	0	224	1,355
	出動人員	633	938	176	10	41	1,820	99	0	764	4,481

小数点第2位を四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

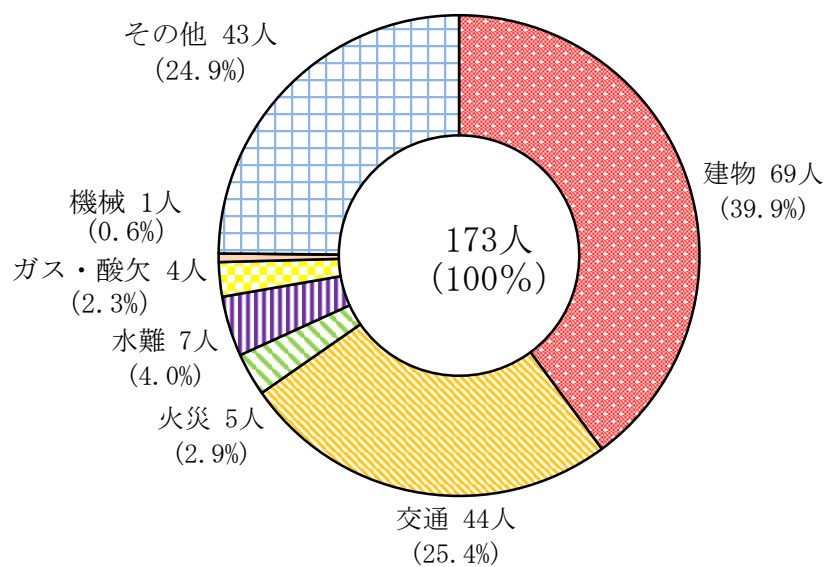
事故種別出動件数と構成割合

(令和7年中)



事故種別救助人員と構成割合

(令和7年中)



小数点第2位を四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

月別救助出動等の状況

月別に出動の状況をみると、8月が最も多く34件で、次いで1月の30件となり、月平均22.1件の出動となっています。
(令和7年中)

区分 月別	出動件数	活動件数	救助人員	事故種別出動件数								
				火災	交通	水難	自然	機械	建物	ガス・酸欠	破裂	その他
1月	30	26	25	2	5	1			15	1		6
2月	14	9	6					1	9			4
3月	16	11	7	1	6				6			3
4月	21	19	17	1	5	2			9			4
5月	7	4	3		1		1		2			3
6月	25	19	20	2	9				5			9
7月	26	16	14	1	9				11			5
8月	34	26	23	2	6	2			18	1		5
9月	25	21	18	2	7	1			7			8
10月	22	18	16	1	6				10	1		4
11月	20	14	11	1	3	1			10	2		3
12月	25	20	13	2	6	1			15			1
合計	265	203	173	15	63	8	1	1	117	5	0	55

事故種別・傷病程度別救助人員

救助人員を事故種別・傷病程度別でみると、建物等による事故の軽症が30人（17.3%）と最も多く、次いで建物等による事故の中等症の24人（13.9%）、交通事故の軽症の23人（13.3%）の順になっています。

(令和7年中)

区分	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
火災	1	1		2	1	5
交通	2	6	10	23	3	44
水難	6			1		7
自然						0
機械				1		1
建物	3	4	24	30	8	69
ガス・酸欠	4					4
破裂						0
その他	2	3	12	17	9	43
合計	18	14	46	74	21	173

発生場所別の出動状況

発生場所別に出動の状況をみると、屋内が１４５件で、出動件数全体の
 ５４．７％を占め、屋外は１１５件で４３．４％となっています。

j

(令和７年中)

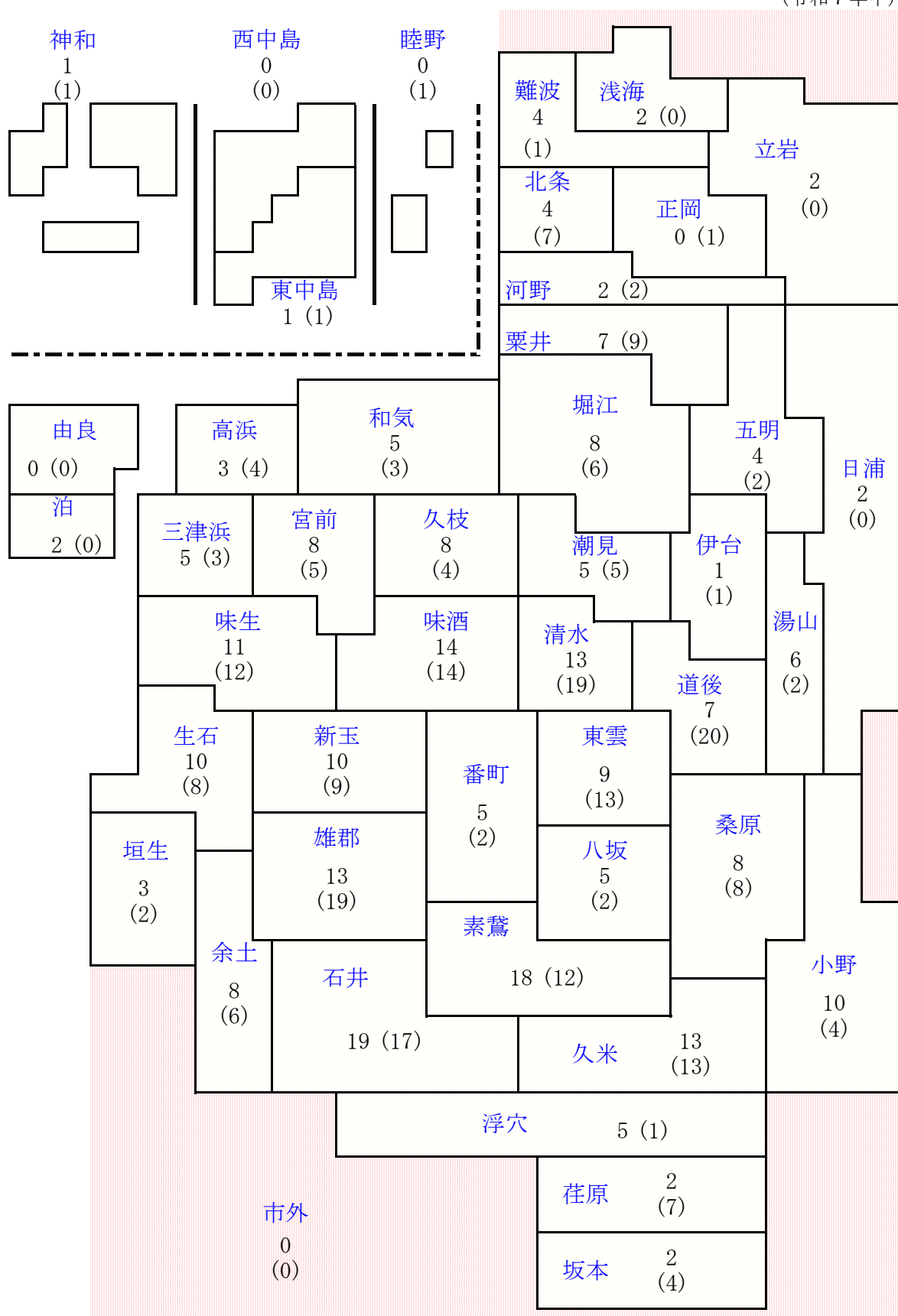
発生場所別	火災		交通	水難	自然	機械	建物	ガス・酸欠	破裂	その他	合計
	建物	建物以外									
屋 内	14						117	2		12	145
	5						69	1		5	80
	12						109	1		10	132
	5						65	1		4	75
その他の屋内	2						8	1		2	13
							4			1	5
屋 外		1	63	8		1		3		39	115
			44	7		1		3		32	87
高 速 道 路											0
											0
その他の道路		1	49							1	51
			34							1	35
内 水 面			3	2						4	9
			2	2						4	8
外 水 面				6						2	8
				5						2	7
山 岳										4	4
										2	2
その他の屋外			11			1		3		28	43
			8			1		3		23	35
地 下											0
											0
そ の 他					1					4	5
										6	6
合 計	14	1	63	8	1	1	117	5	0	55	265
	5	0	44	7	0	1	69	4	0	43	173

(注) 救助人員数

地区別救助出動状況

出動件数 265件（前年 250件） ※（ ）内は前年の発生状況

（令和7年中）



救助隊員の訓練実施状況

(令和7年中)

訓練種別 区 分		体力練成 ・訓練	ロープ 基本・応用 訓練	検索・救助 訓練	各種 救助器具 取扱訓練	各種 救助事象 想定訓練	その他の 訓練	合 計
中央 消防署	実施延回数 (回)	1,089	6	76	193	162	2	1,528
	実施延人員 (人)	4,258	24	295	741	716	7	6,041
	延実施時間 (時間)	571.5	8.5	105.5	276.5	284.5	2.5	1,249.0
東 消防署	実施延回数 (回)	1,084	18	62	82	105	64	1,415
	実施延人員 (人)	3,992	76	200	343	407	421	5,439
	実施延時間 (時間)	542.0	39.5	102.5	110.0	174.8	230.0	1,198.8
南 消防署	実施延回数 (回)	1,002	159	102	52	102	6	1,423
	実施延人員 (人)	3,960	824	316	190	419	17	5,726
	実施延時間 (時間)	499.7	395.3	132.5	81.8	137.7	7.5	1,254.4
西 消防署	実施延回数 (回)	1,117	124	118	145	80	6	1,590
	実施延人員 (人)	4,326	655	495	633	279	24	6,412
	実施延時間 (時間)	567.5	193.0	124.0	140.5	114.5	14.0	1,153.5
合 計	実施延回数 (回)	4,292	307	358	472	449	78	5,956
	実施延人員 (人)	16,536	1,579	1,306	1,907	1,821	469	23,618
	実施延時間 (時間)	2,180.7	636.3	464.5	608.8	711.5	254.0	4,855.7

消防救助技術大会

第10回愛媛県消防救助技術大会

- ① 実施日：令和7年6月5日(木)
- ② 実施場所：愛媛県松山市勝岡町1163番地15 愛媛県消防学校

第53回消防救助技術四国地区指導会

- ① 実施日：令和7年7月26日(土)
- ② 実施場所：徳島県板野郡北島町鯛浜字大西165番地 徳島県消防学校

第53回全国消防救助技術大会

- ① 実施日：令和7年8月30日(土)
- ② 実施場所：兵庫県三木市志染町御坂1-19 兵庫県立広域防災センター

国際消防救助隊（IRT）

海外で大規模な災害が発生した場合に、被災国からの要請に応じて、救助活動、医療活動、災害応急対策・災害復旧のための活動を行うために組織される部隊を国際緊急援助隊と言い、そのうち救助活動に従事する消防救助チームが国際消防救助隊と呼ばれます。

国際消防救助隊は、英語で「International Rescue Team of Japanese Fireservice」、略称「IRT-JF」とし、愛称が「愛ある手」とされています。

現在IRTは、全国の消防本部のうち77消防本部から選抜された599名の救助隊員で構成され、松山市消防局からは6名の救助隊員が登録されています。



令和7年度国際消防救助隊連携訓練
（京都市消防活動総合センター）

MEMO